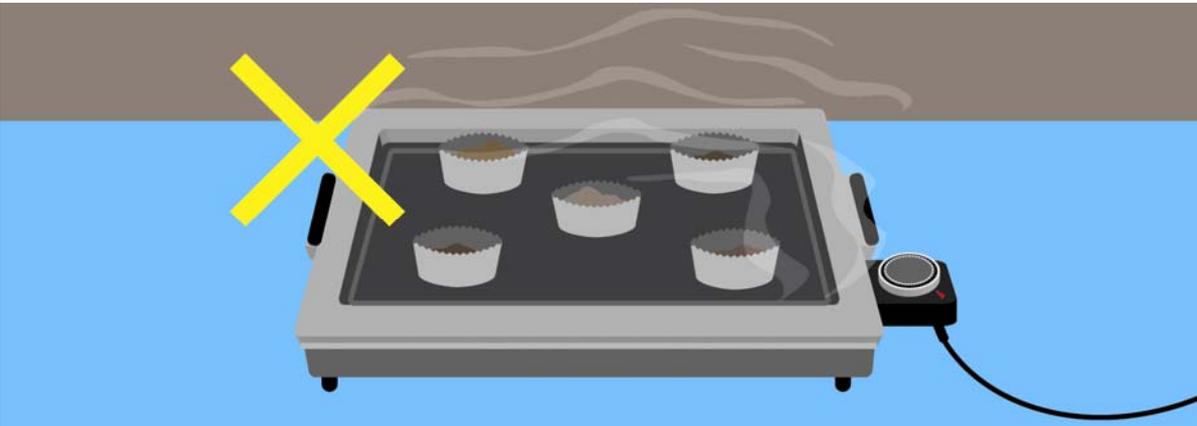
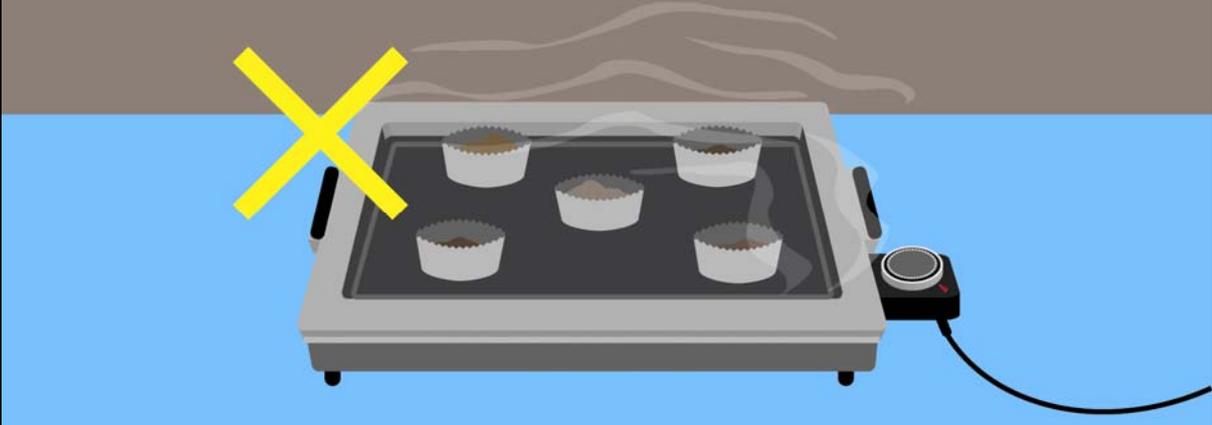


不具合事例

整理番号 C-02-001

タイトル	誤った方法で試料を調整して、想定外に高濃度?、低濃度!?		
工種	<input checked="" type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第二種特定有害物質、第三種特定有害物質		
土地履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center;">「その試料調整は間違ってます。」</p> 		
作業内容	土壌試料の分析前処理		
使用機器	乾燥器具		
不具合事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・短納期で分析値を出すために、現場での前処理（乾燥）を行った。 ・土壌試料を早く乾燥するため、風乾の意味を拡大解釈し、ホットプレート上で加熱乾燥させた。 ・加熱により汚染物質の溶出特性が変化し、本来の土壌溶出量の値とは異なる分析結果が出た。 			
予防措置(計画者・監督者・作業員)			
<ul style="list-style-type: none"> ・土壌試料は状態が変化するおそれがあるため、有姿で採取後、速やかに分析機関に送付するべきである。(計画者・監督者) 			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> ・もう一度土壌試料を採取し、速やかに分析機関へ送付する。 			
その他、留意事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・「表層及び深さ 5～50cm の土壌試料を採取した場合には、個別に風乾する。調査地では試料の混合はしない。」¹⁾ こととなっており、設備が整っていない現場での前処理には問題がある。 ・風乾は基本的に日陰にて行うことが一般的。急ぎの場合、温風乾燥機で乾燥するケースもあるが 40℃までが一般的である(但し、水銀を除く)。 ・一般に熱処理をするとシアン、水銀などは揮発するおそれがある。また、その他の重金属等については汚染原因により異なるが、溶出量の増減を生じるおそれがある。 ・VOC 汚染の場合は速やかに土壌試料を容器に保存すること。 			
関連法規等、出典	1) 土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン暫定版 p. 148 及び Appendix-8_1		
キーワード	風乾、有姿、土壌試料、分析の前処理		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

タイトル	誤った方法で試料を調整して、想定外に高濃度?、低濃度!?	
説明図	<p style="text-align: center;">「その試料調整は間違ってます。」</p> 	
作業内容	・ 土壌試料の分析前処理	
指示事項		
<ul style="list-style-type: none">・ 土壌試料は状態が変化するおそれがあるので、有姿で採取後速やかに容器に詰め、分析機関に送付する。・ 土壌試料の強制乾燥は行わないこと。		
どんな不具合が起こりうるか?		
だから私たちはこうします		
本日の重点施策	ヨシ!!	
サイン		